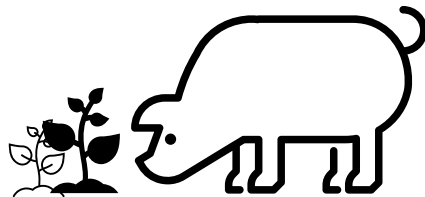
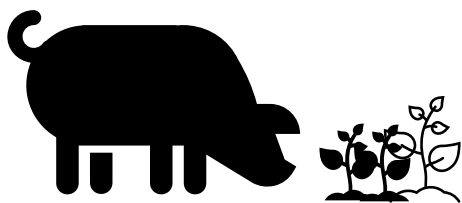


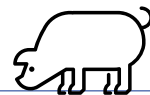
Streptococcus suis (豚)



農林水産省動物医薬品検査所

2026年 7 月

薬剤感受性試験(ディスク法)の判定基準値 - *Streptococcus suis* (Ss) -



背景

獣医領域ではブレイクポイント(BP*)のある薬剤や菌種が限られているため、薬剤感受性試験結果を判断することが難しい。

*細菌が薬剤に対して感受性か耐性かを判断する基準

目的

全国から収集された家畜由来細菌を用いて調査解析し、判定基準値を示すことで、現場での薬剤感受性試験結果の解釈に活用すること。

被験菌

2019-2021年に全国から提供された豚の病性鑑定由来Ss(136株)

方法

臨床検査標準協会(CLSI)に準拠した方法で微量液体希釈法*1及びディスク法*2を実施し、最小発育阻止濃度(MIC)とディスク阻止円径の相関を調べた。

結果

CLSIにBPの設定がないABPC、PCG、TC、EM、TS及びTPで感度・特異度ともに0.8以上の判定基準値を得た。

薬剤名*3	ディスク濃度	判定値						感度 (耐性一致率)	特異度 (感性一致率)
		MIC(μg/mL)*4			阻止円径(mm)*5				
		S	I	R	S	I	R		
ABPC	10μg	≤0.5	1	≥2	≥27	－	≤26	S:1.00 R:1.00	S:1.00 R:1.00
PCG	10U	≤0.25	0.5	≥1	≥29	24-28	≤23	S:0.87 R:1.00	S:0.89 R:1.00
CTF	30μg	≤2	4	≥8	≥21	18-20	≤17	－	－
TC	30μg	≤0.5	1	≥2	≥31	24-30	≤23	S:1.00 R:0.99	S:1.00 R:1.00
EM	15μg	≤0.25	0.5	≥1	≥24	－	≤23	S:1.00 R:0.99	S:0.97 R:1.00
TS	60μg	≤1	2-4	≥8	≥21	－	≤20	S:1.00 R:0.99	S:0.99 R:1.00
TP	30μg	≤8	－	≥16	≥20	－	≤19	S:1.00 R:1.00	S:1.00 R:1.00

*1:培地はCAMHB + 2.5%馬溶血液

*2:培地はMHA + 5%脱繊維羊血液

*3:ABPC(アンピシリン), PCG(ペニシリン), CTF(セフトリオキサム), TC(テトラサイクリン), EM(エリスロマイシン), TS(タイロシン), TP(チナゾリド)

*4:MICの判定基準値: ABPC, PCG, CTF, TCはCLSI Vet01S 7th editionのClinical Break Point(CBP)、EMはCLSI M100 35th editionのBP、TS及びTPは本調査で作成した疫学的カットオフ値を示す。

*5:阻止円径について、色付きの値は本調査から得られた阻止円径の参考判定値を示す。その他の薬剤はCLSI Vet01S 7th editionのBPを示す。